

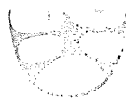
報告第16号

令和5年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、令和5年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和6年9月18日提出

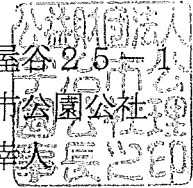
宇治市長 松 村 淳 子



6 公宇公第 1 7 7 号
令和 6 年 6 月 2 5 日

宇治市長 松村 淳子 様

所 在 地	宇治市広野町八軒屋谷 2-5-1
法 人 名	公益財団法人宇治市公園公社
代表者氏名	理事長 木村 幸夫



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第 4 条第 2 項の規定に基づき、次のとおり報告します。

第1号様式

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団 体 名	公益財団法人 宇治市公園公社	設立年月日	昭和 63 年 7 月 11 日
公益財団法人への移行年月日			平成 22 年 10 月 1 日
基本財産	30,000千円 (移行前 30,000千円 うち市出えん・出資額 30,000千円 出資比率100%)		
設立目的	宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び健全な利用を通じてスポーツ・レクリエーションの振興を図り、もって都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与する。		

2. 役職員等の状況

		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			市職員	市OB		市職員	市OB		市職員	市OB
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	22	3	3	19	1	2	19	1	3
職員	管理職	6	0	5	6	0	5	7	0	6
	一般職	20	0	1	21	0	1	20	0	0
	計	26	0	6	27	0	6	27	0	6

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
緑化推進事業	都市緑化基金の造成、管理及び運営 都市緑化の推進を図るための調査研究、助成事業等 市民の緑化意識の向上 自然環境の保護及び整備 植物文化の普及及び向上
都市公園・都市公園施設の管理運営事業	宇治市植物公園、西宇治公園・巨椋ふれあい運動ひろば、黄檗公園・東山公園の管理及び運営
スポーツ・レクリエーション事業	スポーツ需要の拡大及び健康の維持増進のための健康づくり講座

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位：円)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益	333,700,733	400,005,162	378,726,278
収益事業収益等	13,207,547	122,177,640	136,938,278
市 支 出 金	320,493,186	277,827,522	241,788,000
人 件 費	117,641,186	0	0
事 業 費	202,852,000	277,827,522	241,788,000
費 用	331,491,249	386,857,023	368,668,538
人 件 費	127,186,497	155,832,032	161,978,210
事 業 費	204,304,752	231,024,991	206,690,328
当期経常増減額	2,209,484	13,148,139	10,057,740
当期正味財産増減額	2,012,911	5,524,065	△ 5,999,937
期末正味財産合計額	173,836,024	179,360,089	173,360,152

2) 貸借対照表

(単位：円)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産合計	233,375,961	275,151,926	249,203,068
流 動 資 産	16,162,046	64,845,284	51,314,522
固 定 資 産	217,213,915	210,306,642	197,888,546
負債合計	59,539,937	95,791,837	75,842,916
流 動 負 債	24,244,882	55,932,222	32,761,914
固 定 負 債	35,295,055	39,859,615	43,081,002
正味財産合計	173,836,024	179,360,089	173,360,152
基 本 財 産	30,341,343	29,874,449	28,111,019
その他正味財産	143,494,681	149,485,640	145,249,133

3) 市財政支出の状況

(単位：円)

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補 助 金	117,641,186	0	0
委 託 料	202,852,000	277,827,522	241,788,000
その他(分担金等)	0	0	0
計	320,493,186	277,827,522	241,788,000
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率	人件費計÷費用計	38.4%	40.3%	43.9%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	74.5%	65.2%	69.6%
流動比率	流動資産÷流動負債	66.7%	115.9%	156.6%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価（法人自己評価）

視点	評価	コメント
目的適合性	A	当社は、都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的とし、都市緑化事業に取り組み、緑豊かなまちづくりとスポーツ・レクリエーションの振興、健康づくりを推進する事業の発展的展開を図ってきた。また、公益法人として、公益目的事業の推進に努めている。 一方、新たな指定管理者制度の下でスタートした令和4年度から令和8年度までの5年間の指定管理期間における各施設の管理運営において、令和4年度は利用料金制など新たな制度の下で手探り状態の運営となったが、令和5年度は、令和4年度の経験を活かし、宇治市が進める公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業や紫式部ゆかりのまち宇治市魅力発信プロジェクト等の関連事業を積極的に実施すると共に、これまでから進めている市民・地域・各種団体との連携、身近な公園運営を主眼においた各施設の運営を行った。また、職員全員が、これまで以上に利用者目線、経営感覚を重視した管理・運営に努めているところである。 「緑化推進事業」については、都市緑化基金の運用益を活用し、民有地の緑化と花と緑のある街づくりを推進するため、各種助成事業を実施すると共に、都市緑化意識の高揚を図り、地域で緑化を実践する人材育成を目的に「宇治みどりの学校」を開催している。また、緑化の普及、啓発事業を実施すると共に、宇治市緑化ボランティア「みどりの会」の技術支援、活動支援を行っている。 「宇治市植物公園」については、引き続き、都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民の緑化意識の向上及び地域植物の保存・育成に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、福祉、市民参画、レクリエーション等の機能を有する「みどりの総合拠点」としての役割を果たしている。公園運営においては、市民参画協働、産学官連携、各種団体、地域との連携に主眼を置いた各種事業を企画し、市民や企業からのサポートによる花と水のタペストリーの絵柄更新、サポーターボランティアによる植物管理・施設改修を実施

		すると共に、各種学校との連携事業の実施や地域との連携によるマルシェの開催、市の子育て関連事業の開催、源氏物語に登場する植物の説明板更新などを積極的に行い、市民、地域が身近に利用できる公園づくりに努めたが、令和5年度の総入園者数は、3月の気候不順による桜の開花遅れが影響して、10万8千538人となり、目標の11万人を達成できなかった。 「運動公園等」については、公認スポーツ施設管理士、公認スポーツ施設運営士等の有資格者の職員を配置し、安全安心な管理・運営のもと、市民サービスの向上とスポーツ・レクリエーションの振興を基軸に置いた各施設の管理・運営を行っている。また、宇治市、宇治市スポーツ協会と連携を図り、市民向けスポーツ体験フェスタや各種の子育て関連事業等を開催すると共に、全国レベルの大会等を積極的に誘致し、スポーツの普及にも努めた。また、自主事業においては、多様な健康運動教室や地域向けの文化教室、地域行事の開催支援等を積極的に行い、市民の健康増進と市民スポーツの普及並びに身近な公園運営に努めているところである。
効率性	A	「公園公社事務局」については、振込業務の電子化、一元的な会計処理の電算化など事務の簡素化と効率化に努めている。 「緑化推進事業」については、都市緑化基金の積極的な運用を行い、多様な事業が実施できるよう事業費の確保に努めている。 「宇治市植物公園」については、限られた人員の中で、数多くの展示会・講習会・イベントを実施するため、フレックスタイムの導入による柔軟な勤務体系の構築や、これまで培ってきた経験と知識、データ等を最大限に活用すると共に、各種サポーター制度により、施設の管理・運営の効率化を図っている。 「運動公園等」については、施設管理や運営のための有資格者を養成、配置することにより、専門的な立場から安全で、効率的・効果的な業務の推進を図っている。
組織運営 健全性	B	公益法人の核として、ガバナンスの強化を図ると共に、各公園の特色を、運営に最大限に生かせるよう、定期的な運営会議の実施などにより、組織間の連携強化、各種事業の共有化を図っている。また、過去に発生した利用料金の誤徴収などの教訓を生かし、更なるコンプライアンスの強化にも努めているところである。 また、公益法人の適正な会計処理として、監査の実施や税理士による専門的なチェックを定期的に行っている。 さらに、接客マニュアル、救急マニュアル、緊急時対応マニュアル等、各種マニュアルを整備し、顧客サービスの向上、安全安心な施設利用のための危機管理体制の確立に努めている。また、ホームページによる情報発信と法人情報の公開により、経営の透明性の確保を図っている。

財務 健全性	A	令和4年度から導入された利用料金制は、各施設の利用料収入が直接、管理・運営経費に充当することになるため、令和4年度の経験を活かし、各公園においては、利用料収入の増収に向けた取組みを強化すると共に、管理・運営経費の節減にも努めている。また、各公園の自主事業収入も収益の大きな要素となることから、新たな事業の実施や既存事業の拡充を行っている。一方で、電力料金を始めとする諸物価の高騰については、各種経費の更なる削減に取り組むと共に、経営努力だけでは、如何ともし難い電気料金等については、指定管理業務に関する基本協定書に基づき、市と協議を行い、指定管理料との差額分について増額変更となった。令和5年度の単年度収支としては、宇治市植物公園、運動公園等の収益は、事業計画を上回ることができた。 「宇治市植物公園」については、令和5年度の入園者目標を11万人と定め、目標達成に向け、人気のある既存イベント、講習会等の拡充を行った。令和4年度に引き続き若い世代に人気のある「京都 ENDEMICA」の開催や地元地域との連携による「夕涼みマルシェ」・「菜の花マルシェ」の開催、NHK 朝ドラの放映を契機に開催した特別企画「牧野富太郎 人生と植物」などにより、来園者の増加に努めてきたが、3月の桜の開花遅れが影響して、目標を達成することが出来なかった。しかしながら入園料等の収入については、施設使用料収入と駐車場収入の増加が図れたことにより、目標を上回ることができた。また、自主事業収入についても、余剰苗の販売が好調で、収支計画以上の増収となった。 「運動公園等」については、利用者の増加を図るため、テニスコート・野球場の夏場の早朝利用を実施すると共に、宇治市、宇治市スポーツ協会との連携事業の拡充や全国レベルの大会の誘致などを行った。また、一般の施設利用においては、新型コロナウイルス感染症による利用控え等の影響が解消され、令和元年度の利用状況に回復したことにより、利用料収入は、令和5年度の目標を上回る結果となった。また、自主事業については、新たな健康教室や文化教室などを積極的に開催すると共に、既存の健康教室にも参加者が戻ってきたことから、収支計画を上回る結果となった。
総合評価	A	「指定管理者」として、令和4年度から始まった新指定管理者制度の下で、指定管理期間5年間の事業計画に基づき、宇治市が進める施策に関連する事業を積極的に実施すると共に、市民・地域・各種団体との連携、身近な公園運営を主眼においた各種事業を積極的に実施し、事業計画書に記載した目標の達成及び安定した当公社経営基盤の構築に向け取り組んでいるところである。一方、「公益法人」としても、健全で透明性の高い経営と市民満足度の高い施設の運営を通して、効果的な公益目的事業の実現に努めているところである。

		「緑化推進事業」については、緑化助成事業や宇治みどりの学校等の事業を当初計画に沿って実施し、都市緑化の推進に努めた。 「宇治市植物公園」においては既存事業の拡充、新規事業の開催など、当初計画を上回る事業を実施することができ、年間入園者数は、事業計画書の目標値を少し下回る結果となったが、サポートボランティア活動の充実を図ると共に、地域、各種団体との連携事業に多くの入園者があり、緑の総合拠点としての役割を推進した。 「運動公園等」では、新型コロナウイルス感染症の影響が概ね解消され、施設の利用状況は令和元年度並まで戻ると共に、自主事業についても新たな健康教室の開催や地域を対象にした文化教室等を積極的に開催し、市民のスポーツ振興、健康増進に寄与することができた。また、宇治市が進める子育て事業や地域が開催する行事を支援するなど、地域に根差した公園運営を進めた。
--	--	---

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い